

アンプを寄贈

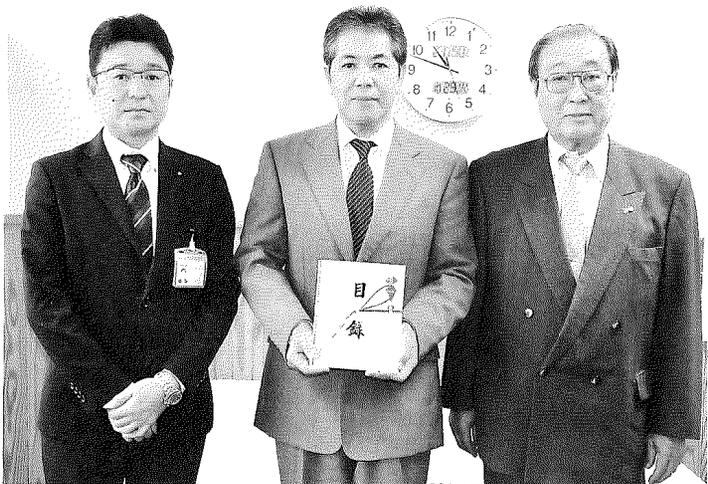
高吉建設が私募債活用

高吉建設株式会社(佐藤利昭代表取締役)が10月29日、発行手数料の一部で地域の学校や医療・福祉施設などに寄贈を行う秋田銀行の「CSR私募債」を活用し、大曲支援学校(小林司校長)にワイヤレスアンプマイクセット一式を寄贈した。

同社のCSR私募債発行は2回目。校舎の営繕を行っていることや2016年に行われた佐藤代表取締役が所属する大曲南ロータリークラブの創立50周年式典で、出席者に贈る記念品の焼き物を同校の生徒に作ってもらった縁などもあり寄贈先に指定した。贈呈式は同校で行わ

れ、秋田銀行大曲駅前支店の小玉武支店長が「CSR私募債は地域企業の資金調達を支援するという当行の事業活動を通じて、社会貢献したいという強い思いが形になったもの。寄贈品を有意義に使って頂けたら幸い」、佐藤代表取締役が「当社の経営理念の一つでもある地域社会への貢献をすることができ、有難い。このような機会を与えてもらったことに感謝したい」とそれぞれあいさつし、小林校長に目録を手渡した。

小林校長は「地域の皆さんの支えで学校の活動ができています。寄贈品は屋外の学校行事などで使わせて頂きたい」と謝辞を述べた。



出席した(左から)小玉支店長、小林校長、佐藤代表取締役